

BIND

Vol.22

RENEWAL

2021.01.04



Close Up Interview

みやはら まさとし

工事部 職長 宮原 雅敏

特別コラム

■『最近の若いものに一言!』
ベテラン社員からの愛のムチ!

Topix

■「大林組」教育訓練校 鉄筋コース受講
進捗レポート!

鉄筋工業界の改革を!

「週休二日制」遂に始動

Revolution Project レポート

朝、工事が始まる前の現場。まだ静かななか、作業前の確認を念入りに行っているのは今年で入社8年目になる工事部の宮原雅敏だ。

23歳という若さで初めて職長となった宮原は、会社の次代を担うと期待されている。入社までの経緯やこれまでの経験、今後の意気込みを聞いた。

出前講座で入社を決意

建設業に興味を持ったきっかけは祖父。宮原は子どもの頃から、造園土木業を営んでいた祖父の仕事ぶりを見てきた。

「自分も将来は建設関係の仕事をしてみたいと思うようになったのです」。

地元の工業高校に進学し、建設科で基礎知識を学んだ。就職先を考え始めた頃、高校に出前講座をしにきたのがダイニッセイ。受講して、入社後にどのような仕事をするのか具体的なイメージが浮かんできた。出前講座をきっかけに入社した先輩たちも声をかけてくれた。

「せっかくの出会い、この会社に入ってみようと思いました」。

高校3年生の夏に内定。卒業までの期間は初めてのアルバイトに励んだ。宅配ピザ店の厨房でピ

ザを焼きながら、挨拶や敬語の使い方、接客態度などを学んだ。社会人としての基本的なマナーを身につけた経験となった。

新米職長の奮闘

高校卒業後の2012年に入社し、工事部に配属された。現場での仕事に取り組むなか、その難しさを感じ始めたのは入社3年目頃だ。一通りの仕事を覚えてきたものの、まだまだ先輩から学ぶことも多く、一方で後輩の手助けもしなくてはならない。先輩と後輩の間に挟まれ、自分の立ち位置に苦心した時期であった。その後23歳で職長に抜擢されるも、知識と経験が不足しており、不安が大きかったという。

職長としての初仕事は、文京区白山の10階建てマンションの現場。特に戸惑ったのは職人の配置やスケジュール管理だ。現場での割り振りがうまくいかなければ工事がスムーズに進まず、工期の遅れにつながる。適切に人員を配置するのは難しく、毎日頭を悩ませていた。

「本当に未熟で、一人では解決できない場面が多々ありました」。

助けてくれたのは、職長指導員として配属され

工事部 職長

みや はら まさ とし

宮原 雅敏





2011 年高校在学中の出前講座

ていたベテラン職長である枝崎。技術的なことはもちろん、職人の割り振り方など、様々なアドバイスを受けながら現場を進めた。緊張の連続だったが、無事に工事は終了。工期、安全、品質ともに何とか守ることが出来た。一方で

「自力でやり切った感じではなかったです。学んだことを次に生かしていこうと思いました」。

ほっと胸をなでおろしつつも、新たな意欲を燃やしたのだった。

経験を積んでレベルアップ

初めて職長を経験してから2年ほどは、大規模な現場の2番手という立場で仕事に携わった。会社のエースである鶴田総合職長の下で、さらに多くの経験を積み重ねた。1度職長を経験したことで指示を出す側の立場もわかり、視野が大きく広がったと感じる。

その後、再び職長として仕事をするように。図面を確認して準備をしっかりと行う、こまめに現場の確認をするなど、以前とは違う形で取り組んでいる。

「あたふたしていた1度目と比べて、気持ちにも余裕が持てるようになってきました。少しはレベルアップできたと思っています」。

会社をさらに盛り上げるために

建設業にはなかなか人が集まりにくい状況で、ダイニッセイは比較的若い社員が多く、ベテランと若手とのバランスが取れている。大ベテランの先輩たちは、優れた技術を持っているが、いつまでも頼ってはられない。学ぶにはタイムリミットがあると、宮原は焦燥感に駆られている。

「この先、会社をより発展させていくために必要だと思うのは、自分も含めた若手の成長です」。

積極的に技術を学んで継承していくためにも、早く若手が一人前になり、会社を盛り上げていきたいと考えている。

大規模現場で活躍する日を目指して

現在、宮原が主に携わるのは、マンションや物流倉庫の現場。工事の途中から現場を引き継いだり、比較的小さな現場を任されたりすることが多い。

「技術や知識を身につけ、大規模な現場や難易度の高い現場も、責任者としてまとめられるようになることが今後の目標です」。

経験を積み、着実にステップアップしている宮原。さらに実力をつけ、次世代のエース級となって活躍の場を広げていこう。



結婚式。会社の皆さんのテーブル。

BIND

宮原 雅敏さんって どんなひと？

今回の巻頭インタビュー対象者、宮原さんの伝えきれなかった魅力を3名の方々に伺いました！周囲から見た宮原さんはどのような人物なのでしょう？



工事部 宇井野 凱士さん

第一印象と現在の印象

宮原さんとは同じ高校出身で、鉄筋組立の授業に宮原さんが講師として来ていたのが最初の出会いです。勢いのある挨拶を見て、「明るい人だな」と感じました。その印象は今も変わらず、会ったときは宮原さんの方から元気よく話しかけてくれます。

忘れられない思い出

入社して初めての現場で、教育係として指導してくれました。約半年にわたる、駅ビルの商業施設の工事。宮原さんは時々叱ることもありますが、普段は優しく、アメとムチを使い分けている方で、現場での動き方や技術を丁寧に教えてもらいました。

宮原さんはどんな存在？

「頼れる兄貴」といったところですか。仕事面だけではなく、生活に関しても面倒をみていただいたことを覚えています。同じ独身寮に入っていたときは週末に遊びに連れて行ってくれました。

宮原さんへ一言

大型現場の職長になったらサブはオレに任せて下さい。

第一印象と現在の印象

同期なのですが、初めて会ったとき、柔らかな印象でとても話しやすかったです。当時、同期はたくさんいたのですが、いつも一緒に行動していました。今も変わらず笑顔が絶えず、なぜかいつもテンションが高いです(笑)そして、かなりのマイペースであることに親しくなってから気づきました。

忘れられない思い出

自分のペースがあるからなのか、忙しい中でもこちらが聞いたことにはしっかり答えてくれます。すぐに対応してくれるのでとても助かっています。

宮原さんはどんな存在？

8年来の関係なので、いてくれるととても安心する存在です。実は現場が一緒だったのは最初の2年ほどだったのですが、今でもプライベートで遊びに行くくらい仲が良いです。

宮原さんへ一言

これからもそのマイペースで親しみやすいままでいてくれたら嬉しいです。



工事部 嶋崎 晴樹さん

第一印象と現在の印象

宮原さんは同じ高校出身の5歳上の先輩です。私が入社したときには宮原さんは既に職長になっていたのですが、第一印象では若いのにしっかりしている方だと思いました。職長になるには平均10年かかると言われているのに、わずか数年でなるような人が高校の先輩とは……と最初は驚きました。今もその印象は変わらず、若いながらも職長として、周囲に引けを取らずに活躍されている方だと思っています。宮原さんの現場についていくことも何度かありましたが、活躍する姿を間近で見て、さらに憧れの存在になりました。

忘れられない思い出

会社と一緒に野球をするメンバーなのですが、宮原さんが野球をするときは、仕事をする際とはまるで目の輝きが違います。野球のリーグ戦ではいつも初戦敗退してしまうチームですが、2～3か月に一度は野球部で集まって練習しており、その際はいつになく楽しそうです。野球でも今後のご活躍に期待！というところでしょうか……(笑)

宮原さんはどんな存在？

憧れの先輩であることは今も変わりません。宮原さんのように、若いうちに職長になることが目標です。同じ高校出身なので、宮原さんがなった職長には、自分もなれると信じて頑張ります(笑)

宮原さんへ一言

肌の黒さでは、これからも負けません(笑)今後ともよろしく願っています！



／ベテラン社員が物申す！／

最近の若いもんは！ 特集



今回はOVER50のベテラン社員の皆さんに若手社員の皆さんの働きぶりや普段の様子について物申していただきました！色々と言いたいことが多いのかと思いきや……見習いたい部分もたくさんあるようです！

是非、この記事を通じてより一層、世代を超えたコミュニケーションをとっていただければと思います♪

若手社員に物申す！

もっと貪欲に、「将来こうなりたい！」というビジョンを表に出して欲しいと思っています。当社の若手社員は「ゆとり世代」と呼ばれる人たちですが、世間的なイメージとは正反対で、みんな一生懸命働いてくれています。しかし、自分の知りたいこと・やりたいことを内に秘めてしまいがちです。我々の仕事は年功序列型ではなく、実力の世界。長く働いていても実力がなければ上にはいきません。「こういう風になりたい！教えてほしい！」という貪欲さが見えることで、その人の求めていることがわかり、その都度アドバイスができます。サポートは我々が全面的にします！もっと欲を出してください！

若手社員に質問！

会社の行事は楽しいですか？「会社に言われたことだからと義務感で参加しているのでは……？」とってしまうことがあります。コロナで忘年会などが開催できなくなりましたが、今後もみんなとコミュニケーションが取れる機会を作りたいと思っています。

若手社員のココが好き！

みんな人付き合いがうまく、すぐ懐に入ってきます（笑）何気ない会話から、彼らが何を求めているのかを見つけ、それぞれの個性に合った指導を心がけています。「次これやってみるか？」と言うと、ノーと言わずすぐに対応してくれるので、その対応力に驚くことがあります。

若手社員のここがすごい！

やはり最新機器に強い！スマートフォン、タブレットやパソコンなど、生まれたときからあるのが当たり前だからこそ、新機能を使いこなすのが早い！毎月の会議をリモートで発信しているのですが、みんな何の抵抗もなく参加してくれています。



ベテラン

1



取締役工事部長

いけだ たかみつ

池田 孝満さん

ベテラン

2



鉄筋工事部 職長

おお やま ち ゆき

大山 智幸さん

若手社員に物申す！

若手社員を見ると、時代の移り変わりにあわせて仕事に対する考え方も変化していったと感じます。私の時代では、退勤後も仕事を家に持ち帰り作業してしまっていましたし、業務は誰も教えてくれないため、先輩の技術を見て覚えなければなりませんでした。

今の若手社員は働きやすい環境が整ってきているので幸せだと思います。会社は成長し、就業時間は8時～17時になり、休日も増え、プライベートを大切にするサラリーマンの働き方になりました。仕事をするうえで「こなす」だけにならないでほしいですが、ダイニッセイの若手社員達はしっかり仕事を頑張っています。先輩が仕事を丁寧に教えてくれる環境があるので、積極的に先輩から技術を教わりに来るような貪欲さをもっと求めています！

若手社員のここがすごい！

やっぱり力比べではもう勝てません。若いうちは体力があるので、無理が効きますが、私はもう体が追いつきません。体が元気のうちに、頭で仕事を覚えるだけでなく、体でも身につけていってほしいと思います。また、今の子どもたちはとても仲がいい。コミュニケーションも円滑になるし、団結力も高まるためとてもいいことだと感じています。

若手社員に物申す！

何か指導をしたり注意したときの言い訳が長いことが気になります！素直にごめんなさいと言えること、そして他に人の意見をまずは取り入れてみよう実践してみようことは、若いうちは大切だと思います。また、口の利き方が気になる時もあります…！そういった時は人生の先輩として、後輩のこれからの人生のためにビシバシ指導していきます！

若手社員のここがすごい！

自分の二十代の頃と比べると、ダイニッセイの若手社員はとても真面目に仕事をしていると感じます。既に今の若手社員達は自分の子供と同じくらいの年代なので、後輩というよりもかわいい我が子のように感じてしまい、生意気だと感じることもあってもつつい許してしまいます……（笑）

若手社員へメッセージ！

五十代になって、「あの頃こうしていたらよかったのに……」と後悔をしないように仕事もプライベートも全力で取り組んで欲しいです！今の自分の人生を思いっきり楽しんでください！

ベテラン

3



鉄筋工事部

とく や とし ひろ

徳家 敏浩さん

ベテラン社員の皆様ご協力ありがとうございました！

次号では若手社員の皆さんがベテラン社員に物申す！企画をお届けします♪お楽しみに！

「Evolution Project」

進化プロジェクト

2020年4月から『4週6休制度』を導入してきたダイニッセイ。その導入だけでも業界にとっては躍進的な改革でしたが、2021年4月、遂に『週休二日制』の導入に踏み切りました。4週6休制度を導入する中で社長が感じた世の中とのギャップ、そしてこの『週休二日制』の導入に踏み切った決意とは。2021年、ダイニッセイにとっての新たな挑戦の年が始まります。

Evolution

遂に始動!

2021年4月より**START!**

『週休二日制』

遂に始動!『週休二日制』導入に関して、建設通信新聞に掲載されました!



全社員が自分の 能力を出し切ること

大学生の採用において休日が少ないことはネックなので、最近は建設業界も他産業のように4週8休にできるよう、努力しようという雰囲気は感じていました。しかし、それが実現できているとは言えないので、先手を切って導入を決意しました。

これから若い人たちが入ってくれば、将来の経営環境が整うので今のうちに取り組んで良かったと思います。とはいえ、受注競争の中でのこの決断は非常に大きなものでした。**休日を増やしながらも厳しい効率競争を乗り切るため、全社員が自分の能力を出し切るという意識を持って仕事に取り組む必要があると思います。**社員には、社長が日頃から思いを打ち明けているので、今後十分頑張ってくれると期待しています。もちろん社員を第一に考えていますので、今いる社員やこれからダイニッセイに入社する人が、**この週休二日制の導入によって、家族との接点が増え充実した人生になったら嬉しく思います。**

代表取締役会長

池田 慎二

会社の未来を見据えれば、 決して大きな決断ではない

業界の常識を打ち破る！

『週休二日制』導入に踏み切った決意

ダイニッセイでは、2020年4月から4週6休制度を導入し、進めてきました。それ自体も業界としては非常に躍進的な制度ではありましたが、大学生の採用を進めていくにあたって現実を思い知らされました。何度か食事にも行き、打ち解けた学生が数名いたのですが、中々返事をくれず、最終的には「週休二日の会社に行きます」との返答。それまでは、休みの差はあっても、仕事内容に誇りを持っていれば、会社のことを本気で好きになってくれるはず。労働環境など条件としての壁は乗り越えられると思っていました。しかし、現実はいかに、いかに世間が見えていなかったかを思い知らされました。若手が入らず、技術が衰退し、崩壊していった会社をこの十数年でいくつも見てきたので、**今、ダイニッセイで働いている社員と会社の未来を守るためにも、会社を更に発展させるためにも、若い力は絶対必要だと考えています。**だからこそ、若手の採用が難しくなってきた今、やはり業界の常識そのものを見直さなくてはならないと実感しました。

同業他社からは「よく決意した」「本当にやっていけるのか」などいろいろな声を掛けられましたが、会社の未来を考えると、決して大きな決断ではなかったと思います。この制度を導入するか決断する際に、現場の職長なども集めて会議を行ったのですが、みんなが「やれるんじゃないか」と言ってくれました。社員のその想いも、決断できた1つの要因でした。

週休二日制を実現するために

とにかく生産性を上げなくてはならないと思います。休みだけ増えて、仕事量は減って、技術力も下がって、では本末転倒です。**休みが増える分、働いている時間を最大限活用できるよう、さらなる技術力の向上、生産性アップを図っていかねばいけません。**また休日もしっかりと体を安め、充実させてほしいです。

2021年4月からの始動に向けて、まずはその体制でどう働くか、2～3か月前から試運転という形で実践をしてみる予定です。そこで、**どう生産性を上げるのか、どう効率的に動けばいいのか、ひとりひとりが知恵を絞って全力で取り組み、未来のダイニッセイを作っていくってほしいと思います。**



代表取締役社長

池田 洋一

建設通信新聞に『来年度から週休2日制導入』というタイトルでダイニッセイが掲載されています！
裏面に新聞記事を書載していますので是非読んでみてくださいね！

次号では実際に週休二日制導入に向けて動き出すにあたり、現場の声を取材します！楽しみに！

DAINISAY BOARD!!

日々会社の中で行われる様々な取り組みや、イベント、トピックスをご紹介します。2021年4月からダイニッセイの新たな仲間となる内定者のご紹介や、大林組 教育訓練校 鉄筋コースを受講したお二人のインタビューなど、今月も盛り沢山でお届けします!



2021年4月入社!

内定者二人と懇親会を行いました!

春からダイニッセイの仲間となる二人の内定者と懇親会を行いましたので、その様子をお届けします。また、内定者の二人には入社の決めた理由や今後の意気込みについてお話を伺いました!



NEW!

ひょう ゆ
馮 俣さん 出身地:中国
出身校:日本大学

入社を決めた理由

会社説明会でのお話を聞いて、**人のため、社会のためになる素晴らしい仕事だとわかりました。**自分もこのような人々の支えになる仕事をしたいと考えていたことが、入社を決めた理由です。また会社見学をした際、社長や先輩社員の方々がとても優しく、話しやすい方々であることに安心し、この環境なら楽しく全力で働けると思いました。

今後の意気込み

この度株式会社ダイニッセイに就職できたこと、大変幸せだと思っています。社会人としての第一歩を会社の仲間と共に迎えられることが大変嬉しく感じます。経験が浅いために仕事で迷惑をかけることもあると思いますが、一刻も早く仕事を覚えて戦力になりたい気持ちで、精一杯頑張ります!



NEW!

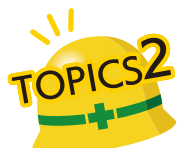
す どうしゅんすけ
須藤 駿介さん 出身地:千葉県
出身校:國學院大学

入社を決めた理由

漠然と**「形ある物を作りたい」**との気持ちで建設業界の門戸を叩いていたところ、会社説明会や会社見学の際に様々なお話を伺っているなかで社長や採用担当者様の人柄に触れ、この方々の元で働くべきだと決意しました。仕事は人との関係において初めて成立するものだという信念が私にあったことが理由です。

今後の意気込み

恐れずに申し上げるならば、いなくなったら困るような社員になりたいです。技術の面ではもちろん、人柄の面でも模範的な水準にまで達せられるよう、精進しようと意気込んでおります。



大手ゼネコン大林組 教育訓練校 鉄筋コース受講！ 参加したお二人にインタビュー！

コロナウイルスの影響により、今年はリモートで行われた講座。
今までの差や受講した感想を、参加者のお2人に伺いました！



工事部
みやうち じゅ き や
宮内 樹希弥さん
入社：3年7か月

勉強になったこと

CADが最も勉強になりました。鉄筋(柱と梁)のおさまりなど、CADで描くことにより干涉する部分が明確にわかり、かぶりが大きいところなどの理由が自分で描くことにより理解できました。学べたことは、各講師の方々による鉄筋についての豆知識がとても勉強になりました。

学んだことをどのように活かすか

現場でのミスにいち早く気づき、作業する仲間たちが**怪我なく仕事ができるよう**、様々なところに気配りをしていきたいと思います。ダイニッセイの一社員として皆に認められる人になれるよう、頑張ります！

リモート講義の感想

大部分がリモートだったので比較することは難しいですが、リモート講義も良いと思いました。**自分のペースで進められますし、常に見られていないので緊張することもなく、楽しみながら受講できた**と思います。最後の1週間のみ対面で行いましたが、それもまたリモートとは違い他の会社の人とも話せて、また違う楽しさがありました。

今後同じ講座を受ける若手社員へアドバイス

他社からは既に職長になっている人や、拾い出しをしている人も来ていたので、初めの頃は皆に置いていかれそうになりました。しかし講師の方々ができるまで教えてくれるので、心配しなくても大丈夫だと思います。あとは気合いと根性があれば、後半には楽しく思えるはずです！



工事部
う い の かい と
宇井野 凱士さん
入社：4年7か月

勉強になったこと

今回、**CADを使えるようになることがメインの訓練**でした。CADだけに留まらず、パソコンの基本操作からリモートを交えた訓練、Zoomの画期的な使用方法まで学ぶことができたので、今後いろいろなパターンにも対応できると思います。

学んだことをどのように活かすか

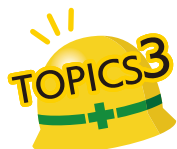
まだまだ現場全体の拾い出しや検討図の作図などには至らないけど、まずは少しずつでも実戦で積極的に**CADを取り入れて、仕事にチャレンジしていきたい**と思います！

リモート講義の感想

新型コロナウイルスにより1つの部屋に大勢で集まることを制限されている中での研修でした。それでもリモートというアイデアを成功させるために、訓練校、関係者の方々による考えに考え込まれた計画のおかげで、わからないことをわからないままにしない、充実した講義を受けることができました。

今後同じ講座を受ける若手社員へアドバイス

今回の訓練で担任の先生がおっしゃっていた「**案外、休み時間にする無駄話の方がためになることがある**」という言葉覚えていきます。講師の方々は鉄筋のプロなので、CADだけに限らず豆知識も教えていただき、貴重な経験をすることができました。



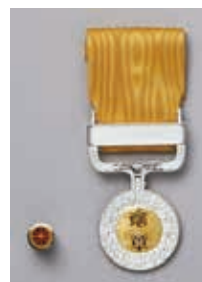
池田会長が秋の褒章において 『黄綬褒章(おうじゅほうしょう)』を受章！

次号で特集いたします！

この度、池田会長が『黄綬褒章(おうじゅほうしょう)』を受章いたしました！お祝いのお花も届いております。社員、協力業者一同、大変喜ばしいことだと感じております。

■秋の褒章『黄綬褒章(おうじゅほうしょう)』とは…

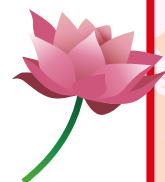
褒章は、天皇が授与する栄典。授与の対象者は、日本国籍を持つ個人のみならず、外国人および法人を含みます。黄綬褒章(おうじゅほうしょう)は「業務二精励シ衆民ノ模範タルベキ者」に授与されるとされており、つまり「農業、商業、工業等の業務に精励し、他の模範となるような技術や事績を有する方」に授与されます。



▲黄綬褒章の正章(右)と略綬(左)



わたしの家族を紹介します！



家族と離れ、日本で頑張るベトナム人の仲間たち。今号ではそんなベトナム人の方々に、愛する自分の家族をベトナム語と共に紹介していただきます！

グエン

NGUYEN

タック

TAT

ルアン

LUANさん



Tôi là Luân, đến Nhật từ tháng 6 năm 2016 và làm việc cho công ty Dainisay. Sau khi làm việc ở Nhật 3 năm tôi đã trở về VN, sau đó quay lại Nhật vào tháng 3/2020. Gia đình tôi có 5 thành viên, tôi, vợ tôi và 3 con nhỏ. Vợ tôi tên là Quyên, thích bóng chuyền, đang làm nội trợ và nuôi con. 3 con của tôi đều là trai. Con trai lớn nhất là Nam, 7 tuổi, đang học lớp 2. Con trai kế tên Huy, 5 tuổi, đang học mẫu giáo. Và con trai nhỏ nhất của tôi tên là Phú, vừa sinh được 3 tháng tuổi. Tôi rất nhớ gia đình của mình, tôi có dự định tết này sẽ về thăm gia đình nhưng hiện tại vì dịch bệnh mà tôi không thể về được. Hi vọng dịch bệnh qua nhanh để tôi có thể về thăm gia đình, hoặc có cơ hội đưa gia đình mình qua Nhật tham quan du lịch, cũng như biết được nơi tôi đang sinh sống và làm việc.

ルアンと申します。

2016年6月から日本に来て、株式会社ダイニッセイで3年間働いて、ベトナムに帰国して、2020年3月に日本に戻りました。私の家族には、私と妻と3人の子供が5人います。妻はクエン、バレーボールが大好きです。彼女は主婦で子供を育てています。3人の子供は男の子です。長男は小学2年生の7歳のナムです。次子のフィは5歳で、園児です。そして末っ子はプーで、生後わずか3ヶ月です。私はいつも家族を愛しています。来年のベトナム正月に家族に帰省したいですが、コロナの影響のため、戻ることができないと思います。私が家族を訪ねたり、みんなを日本に連れて一緒に遊びに行きたりすることができたら、とても嬉しいです。私が住んでいて、働いている美しい日本を家族に知ってもらうため、コロナが早く終わりますように。



愛する家族のため、皆さん異国の地でがんばって働いています！

次号予告

乞う
ご期待！

Vol.23

2021.4.08発行

■Close Up Interview

のろ あつし
野呂 敦志さん

■TOPICS

- ・新入社員紹介
- ・池田会長黄綬褒章受章
- ・細川副部長ヤングマイスター表彰受賞

■Evolution Project レポート

遂に4月より指導！週休二日制に
挑む職長たちへインタビュー

乞うご期待！

来年度から週休2日制導入

鉄筋工事業のダイニッセイ(千葉県市原市、池田洋一社長)が2021年4月から週休2日制の導入に踏み切る。ことし4月から4週6休を始めたばかりの中で決断に至った経緯と、「Evolution Project(進化プロジェクト)」と銘打ち取り組む各種取り組みなどを池田社長に聞いた。

ダイニッセイ社長 池田 洋一氏に聞く



進化プロジェクトも推進

——週休2日制の決断に至った経緯は

「これまで高校で出前講座を開いて先生に学生を薦めてもらったりしたが、進学率も上がり人材確保が非常に難しかった。そこで21年3月卒の大学生を対象に合同セミナーなどに参加し始めた。体育会学生との交流を持つため北関東地区を回ったりもした」

「朝早い、休みが少ない、技術に自信があり業界ナンバーワンになる目標を掲げていることなど、ありのまま正直に話した。4週6休にして近いうちに年間休日100日を超えると話をしたが、大学生からは「会社は良い雰囲気だが、週休2日の会社にはま



統一デザインにリニューアルした企業パンフレット(手前)、社内報

す」と言われた」

「もともと4週4休だったのを5年ほど前に4週5休にした。高校の求人でも苦労していたため、思い切って4月から4週6休にしたつもりだったが、大学の求人を見てみると世間が見えていなかったか思い知らされた」

「週休2日制にすることで、いまいる社員のためにも若い人たちが集まりやすい会社になっていきたい。他社と一線を画すつもりで休日、給料を含め社員にとって良い会社にならないといけない」

——どのように週休2日制を運用するのか

「いまは朝8時から夕方5時までの7時間20分労働(の4週6休制)だが、これを8時間労働とし、日曜日ともう1日の週休2日をシフト制で回すことを考えている」

「いま工事単価が下落しているが、我慢して頑張るのではなく、この値段でも十分やっていけるだけの生産性を身に付けなければ駄目だ。そうすれば単価が回復した時に大きな利益につながる。歩掛かりはいままで1.5倍を目指し、ターゲットとなる現場で目標を達成したい。作業効率が良くなるようゼネコンと力を合わせて本気で考えていく」

——週休2日制を維持していく上での課題は

「社内のことは乗り切れるが、鉄筋工事業界は応援のやり取りがある。他社と勤務時間が変わることにはなるが、うまくやっていきたい」

「夏場も労働時間が延びることで懸念はあるが、週休2日であればしっかりと体を休められる。夏場に体の負担が少ない技術をもっとみんなに身につけて、省力化工法も推進して実績を出していきたい」

「週休2日でやっていけるのか」と同業者などに言われるが、他産業とのギャップをみれば回りに感ぜられず進めないとけない。協力業者については職人をこれだけ抱えているうちがやれることを見せ、うちが道しるべになるしかないと思っている」

——他に取り組んでいる進化プロジェクトは

「ロゴマークを変え、ホームページもリニューアルした。省力化工法を推進するため第3工場を設けた。社員が実力をより発揮できるように今年度から人事評価・賃金制度も導入した」

「同業者やゼネコンなどを対象に鉄筋収まりの検討などを実施する鉄筋工事のコンサルティング業務も、少しずつ商売になってきている」